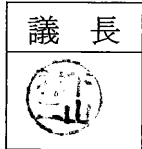




経 由



政務活動費収支報告書

令和 7年 4月 18日

伊豆市長 様

会 派 名 IZU未来
代表者氏名 三田忠男

伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第1項の規定に基づき、令和6年度分の政務活動費に係る収支状況を次のとおり報告します。

- | | |
|-------------|---|
| 1 交 付 額 | 750,000円 |
| 2 支 出 額 | 750,000円 |
| 3 収 支 差 引 額 | 0円 |
| 4 経理責任者氏名 | 鈴木優治 |
| 5 経費の支出明細 | 令和6年度分後期政務活動費収支決算書（別添）のとおり |
| 6 事業の成果 | 2紙以上の新聞購入により、世界情勢及び国内動向等の情報収集を行うとともに、議員研修会に参加をし、議員・議会活動の充実強化を行った。 |

支 払 伝 票

令和6年11月27日

会 派 名		IZU未来		
支 出 金 額		¥ 9 , 3 5 0		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	資料購入 「福祉新聞」 目的 福祉分野における専門的知見、内外の福祉動向や新たな法律、各 県市町条例等の新規同行を得るため。 1 , 8 7 0 円 × 5 ヲ月 = 9 , 3 5 0 円 (令和6年11月分から令和7年3月分まで)		
2	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
④	資 料 購 入 費			
5	要請・陳情活動 費			
6	会 議 費			
7	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		株式会社 福祉新聞社		
支 出 年 月 日		令和6年11月27日	支払番号	①
特 記 事 項				

領収書は裏面添付

請求書

証No.:168296

発行日:2024年10月05日

I Z U未来
三田忠男 様

購読者番号:2201076

いつもご愛読いただき誠にありがとうございます。
下記のとおり請求いたします。(再)

御請求金額(税込)	¥9,350
-----------	--------

手続期限:2024年11月29日

株式会社 福祉新聞社

代表取締役社長 松寿 麻

〒100-0013

東京都千代田区霞が関

尚友会館1階

TEL:03-3581-0431 FAX:03-3581-0433

取引銀行

みずほ銀行 虎ノ門支店 当座0108594

三井住友銀行 霞が関支店 普通6574950

郵便振替口座 00140-2-71762

登録番号:T7-0104-0104-5603

・会計責任者 総務部:山崎

・担当者 購読販売:山賀

※問い合わせMail

・契約:fs-keizoku@fukushishimbun.co.jp

・書類:fs-0433@fukushishimbun.co.jp

品名	購読期間	部数	月数	単価	金額
福祉新聞	2024年11月分～ 2025年03月分迄	1	5	1,870	¥9,350
10%対象					¥9,350
(うち消費税)					¥850
合 計					¥9,350

払込票請求書
兼受領書

00160 4 900496

株式会社 福祉新聞社

9350

X I Z U未来三田忠男様

購読者番号:2201076

2024-11-27

1501000111

2730

現金振

27095

様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票

令和 6 年 12 月 2 日

会 派 名		IZU未来		
支出金額		¥ 2 6 , 0 0 0		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	購入目的 一般質問、所管事務調査、常任委員会審査等の議員・議会活動の充実強化のため世界情勢、国内動向等の情報収集を行い、市議会活動・議会活動に取り入れていくために購入する。 購入者：三田忠男 県内情報収集は、従来から購入している第一新聞紙「静岡新聞」政党新聞として「公明新聞日曜版」「しんぶん赤旗日曜版」を利用している。 購入新聞：「朝日新聞」と「伊豆日日新聞」 購入新聞金額 令和6年11月分より3月までの5か月分26,000円を請求。 (朝日新聞4,000、伊豆日日新聞1,200円)		
2	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
④	資 料 購 入 費			
5	要請・陳情活動費			
6	会 議 費			
7	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		(有) トガワ新聞店		
支 出 年 月 日		令和 6 年 12 月 2 日	支払番号	②
特 記 事 項		参考領収書添付		

領収証

2024 年 12 月 2 日

IZU 未来 三田忠男 様

¥ 26,000-

税抜価格

消費税額

税率 10%

税率 8%

2024 2025

但し 11月~3月分 新聞代

上記金額 (消費税を含む) 正に領収いたしました

朝日新聞 4,000

伊豆日日新聞 1,200

トガワ新聞店

〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保 308-15

TEL:0558-72-0170 FAX:0558-72-6931

登録番号:T4-0801-0200-8467



様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票

令和 6 年 12 月 23 日

会 派 名	IZU未来		
支出金額	¥ 3 5 , 4 2 0		
支 出 科 目	摘 要		
1	調 査 研 究 費	12月24日静岡県議会林活議連主催「森林環境贈与税活用事業及び森の力再生事業に係る合同勉強会」への参加旅費 修善寺駅～三島（新幹線）～静岡 往復 7名参加	
②	研 修 費		
3	資 料 作 成 費		
4	資 料 購 入 費		
5	要請・陳情活動費		
6	会 議 費		
7	広 報 費		
8	広 聴 費		
9	事 務 費		
10	人 件 費		
支 出 先	伊豆箱根鉄道株式会社		
支 出 年 月 日	令和 6 年 12 月 23 日	支払番号	④
特 記 事 項	調査研究費旅費明細書添付		

領収書は裏面添付

領 収 証

No. A 006616

180 未 来 様

2020年12月23日

金 額				7	3	5	4	2	0
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

収 入
(50,000円以上)
印 紙

上記金額正に領収いたしました。(現金・クレジットカード・その他 ())

但し 乗車券代、特急券代として ※☐左記は食料品代(軽減税率対象)含む

登録番号 T9-0801-0100-5353

三島市大場 300番地

【内訳】

標準税率	税込金額 円	35,420
10%対象	消費税額 円	
軽減税率	税込金額 円	
8%対象	消費税額 円	

伊豆箱根鉄道株式会社

静岡県伊豆市柏久保631-7

伊豆箱根鉄道株式会社

修善寺駅

電話0558-72-0667

取扱者

※ 領収印の無いもの、金額を訂正したものは無効です。

様式第10号（第6条関係）

調査研究等旅費明細

会 派 名	IZU未来				代 表 者 印	
参加者氏名	三田忠男 小長谷順二 下山祥二 間野みどり 鈴木優治 飯田大 黒須淳美				経理責任者印	
					支 出 科 目	
実 施 日	令和 6年 12月 24日～ 令和 年 月 日				支 払 番 号	
用 務 先	静岡県庁西館4階 第1会議室					
目 的	静岡県議会林活議連主催「森林環境譲与税活用事業及び森の力再生事業に係る合同勉強会」への参加					
概 算 額		精 算 額		差 引 額		
35,420円		35,420円		0円		
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	宿泊料	
12/24	修善寺駅～三島駅	19.8km	伊豆箱根鉄道	550円	1泊目(甲・乙) 円	
	三島駅～静岡駅	59.5km	JR新幹線	1,980円	2泊目(甲・乙) 円	
	静岡駅～三島駅	59.5km	JR新幹線	1,980円		
	三島駅～修善寺駅	19.8Km	伊豆箱根鉄道	550円		
	～					
	～					
	～					
	～					
	～					
	～					
概 算 額				35,420円		
精 算 額				35,420円		
過 不 足 の 理 由						
備 考			{(550+1,980) × 2} × 7名=35,420円			



調査研究等報告書

令和 6年 12月 26日

実施日時	令和 6年 12月 24日 (火) 14時 00分 ~ 17時00分
参加者氏名	間野みどり 他7名
用務先	静岡県庁西館4館第1会議室 ABC
対応者 (研修先講師等)	林野庁森林整備部森林利用課森林集積推進室 その他
目的・内容	森林環境譲与税活用事業及び森の力再生事業に係る合同勉強会 ・森林環境譲与税及び森林経営管理制度について ・県内の森林環境贈与税を活用した取り組み ・森の再生事業の取り組み ※農業事務所管内の意見交換
成果・所感	・今回の研修において、自分自身があまりにも森林贈与税について無知で勉強不足を実感するものだった。 ・林野庁や県が私たちの生活に密着した課題である森林について、このような施策をとり進めていることに驚かされた。 ・つい街中に住み平凡な生活を送る私たちに、歴史の中の森林かどのような変化をたどり、今の問題点を抱えるようになったかを教えていただき、とても分かりやすかった。 ・各市町の取り組み方も知り、視覚資料で見せてくれることで、とてもよく理解できた。 ・今の問題はやはり人材を確保する問題点もあると思い、伊豆市の取り組みは良いと思った。 ・今回の研修で得たことをもとに、今後も勉強していきたいと思った。

様式第9号(第6条関係)

支 払 伝 票

令和 6 年 12 月 27 日

会 派 名		IZU未来		
支出金額		¥ 4 3 5 , 8 8 0		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	1月27日 1月28日 地方議員研究会主催 研修費 講師：村山 祥栄 1月27日：人口減少対策の質問の仕方 参加者：三田忠男、小長谷順二、下山祥二、間野みどり、波多野靖明、浅田藤二、飯田大、黒須淳美、鈴木優治 @15,000×9名=135,000円 1月28日：財政問題の質問の仕方① 参加者：三田忠男、小長谷順二、青木靖、下山祥二、間野みどり、波多野靖明、浅田藤二、飯田大、黒須淳美、鈴木優治、 @15,000×10名=150,000円 1月28日：財政問題の質問の仕方② 参加者：三田忠男、小長谷順二、青木靖、下山祥二、間野みどり、波多野靖明、浅田藤二、飯田大、黒須淳美、鈴木優治 @15,000×10名=150,000円 一般社団法人CKセミナー宛 振込¥435,000+振込手数料¥880 前振込みにて12月27日 ¥ 4 3 5 , 8 8 0		
②	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
4	資 料 購 入 費			
5	要請・陳情活動費			
6	会 議 費			
7	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		一般社団法人CKセミナー		
支 出 年 月 日		令和 6 年 12 月 27 日	支払番号	④

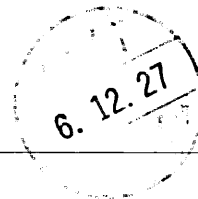
6 12 27

楽天 第四営業支
7128969
人ッパニシマニホウジニシケーセシ
一般社団法人CKセミナー
イズミイ コナカヤ ジュンシ
IZU未来 小長谷 順二

金額 4435000
¥880

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により伝達します。
○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
○通信機器・回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
○ご指定の口座から貯金を払い戻して振り込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。
○この振込受付書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
○振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店



登録番号 T

JAバンク

ご振込の金額は、お振込の金額と一致するようにしてください。

振込手数料は、お振込の金額の2.5%（25円未満は25円）を引いた金額です。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年1月27日(月)14時～村山講師【東京】人口減少対策の質問の仕方	¥135,000	9名様
② 2025年1月28日(火)10時～村山講師【東京】財政問題の質問の仕方①	¥150,000	10名様
③ 2025年1月28日(火)14時～村山講師【東京】財政問題の質問の仕方②	¥150,000	10名様
受講者： 小長谷順二様、他9名様		
領収書宛名： IZU未来 様		
ご請求額： ¥435,000		
【お振込み口座】※振込手数料はお客様負担でお願いいたします。		
楽天銀行 第四営業支店		
普通 7128969		
名義 一般社団法人CKセミナー		

※新型コロナウイルス感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。

※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

※東京会場につきましては、リファレンス西新宿大京ビルまでお越しください

※〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3

新人議員からベテランまで 質問力で役所を動かす 特別研修 in 東京

2025

2.5(水) / 3.28(金)

10:00 - 12:30

地方創生人口戦略再考

- ・地方創生と東京一極集中
- ・人を呼び込む人口増加策
- ・人口減少に負けない自治体戦略
- ・先進自治体に学ぶ質問のポイント

14:00 - 16:30

質問からできる 政策実行研修

- ・実現できないのは質問が悪い
- ・力のある議員には何があるのか
- ・今すぐできる政策大全完全版
- ・質問の鋭さが政策を動かす

2025

2.6(木) / 3.29(土)

10:00 - 12:30

自治体観光戦略①

地方に人を呼び込め観光の基礎

- ・あなたの街の観光戦略
- ・京都に学ぶ実践例
- ・ドバイから学ぶブランディング
- ・議員が取り組むべきポイント

14:00 - 16:30

自治体観光戦略②

急増するインバウンド需要と新しい観光

- ・富裕層やムスリム対策と実践例
- ・アニメやドラマの聖地巡礼
- ・オーバーツーリズム
- ・MICEの基礎と課題
- ・複雑化する観光需要を理解しよう

前京都市会議員

講師

村山 祥栄

【経歴】

■株式会社リクルート(平成12年9月～平成14年9月)

週刊住宅情報(現SUUMO)の営業マン。在職中全ての期でMVPなど社内賞を受賞。

■京都市会議員(平成15年4月～)以後4期連続トップ当選 通算5期

3期目は京都市政史上過去最多得票を記録。(未だ記録破られず)

■地域政党京都党代表 平成22年8月～令和元年10月

自ら地域政党を結党、9年間代表を務める。所属議員現在5名

【主な著書】

・京都・同和「裏」行政(講談社+α新書)重版20000部

22年12月、1月京都市内書店売上1位(アバンティ、大垣書店、ふたば書房等)

・地域政党(光村推古書院)

・税金フリーライダーの正体(講談社+α新書)

・京都が観光で減じる日(ワニブックス新書)

【主な受賞歴】

2012年 マニフェスト大賞地方議会部門 優秀賞(地域政党京都党)

2016年 日本自治創造学会 研究大会・改革発表会「改革取り組みベスト5」

マニフェスト大賞政策提言部門 優秀賞

2019年 マニフェスト大賞政策提言部門 優秀賞



調査研究等報告書

令和 7年 2月 3日

実施日時	令和7年1月28日（火） 14時00分 ～16時30分
参加者氏名	三田忠男、小長谷順二、下山祥二、間野みどり、青木靖、鈴木優治、飯田大、浅田藤二、波多野靖明
用務先	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル2階会議室
対応者 （研修先講師 等）	地方議員研究会 講師：村山祥栄
目的・内容	自治体の財政運営における効率的な手法や新しい取り組みを学びました。ふるさと納税やPFI、公共施設の所有手法など、自治体が直面する財政課題に対する具体的な解決策を考えることです。は、ふるさと納税の仕組みやその効果、自治体がどのようにして財政を再建するか、また、民間資本を活用した公共施設の運営方法などが詳しく解説されました。 さらに、自治体を持つ有給資産の活用法や、民間企業との連携による新たな取り組みについても触れられ、具体的な事例を通じて理解を深めることができました。
成果・所感	午前、午後の2講義を通じて得られた成果として、自治体の財政運営における新しい視点や手法を学ぶことができました。特に、ふるさと納税の仕組みを活用した自治体の成功事例や、PFIを通じた公共施設の効率的な運営方法についての知識は、今後の自治体運営において非常に有益であると感じました。 また、自治体を持つ有給資産をどのように活用するか、民間企業との連携をどのように進めるかといった具体的な手法についても理解を深めることができました。 所感としては、伊豆市が直面する財政課題も適切な手法を用いることで解決の糸口が見つけることができるのではないかと感じました。 今後は、学んだことを実際の自治体運営として活かし、地域の発展に持続可能な社会に寄与できるよう努めていきたいと考えています。

調査研究等報告書

令和 7年 2月 3日

実施日時	令和7年1月28日（火） 10時00分 ～12時30分
参加者氏名	三田忠男、小長谷順二、下山祥二、間野みどり、青木靖、鈴木優治、飯田大、浅田藤二、波多野靖明
用務先	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル2階会議室
対応者 （研修先講師 等）	地方議員研究会 講師：村山祥栄
目的・内容	自治体の財政問題とその解決策を学びました。 内容として、コロナ後の財政リスクや、成果連動型民間委託契約「PFS」とソーシャルインパクトボンド「SIB」といった新しい手法の紹介がありました。 これらは、事業の成果に応じて報酬を支払う仕組みで、効率的な財政運営を目指すものです。
成果・所感	成果として、自治体の財政運営における課題と解決策についての理解が深まりました。特に、PFSとSIBの導入が、効率的な財政の資金運用に寄与する可能性を学びました。 所感としては、伊豆市の財政問題は喫緊の課題ですが、適切な手法を導入することで改善の余地があると感じました。 特に、PFSやSIBは民間の創意工夫を活かし、住民サービスの向上につながる可能性が高いと考えました。 自治体DXを前向きにとらえて、デジタル技術や副業人材の活用も、自治体の持続可能な発展に貢献することを実感しました。 また、「過去の予算案に賛成したから今期も」ではなく、過去の常識が現在の意思決定を妨げているという事もある。前例主義ではなく新しい提案や改善が必要であると感じました。

様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票（戻入）

令和 7 年 1 月 27 日

会 派 名		IZU未来	
支出金額		△¥45,000	
支 出 科 目		摘 要	
1	調 査 研 究 費	1月27日 1月28日地方議員研究会研修費 黒須淳美不参加となり3講座分返金処理¥45,000 12月27日前振込み¥435,000—¥390,000=45,000円	
②	研 修 費		
3	資 料 作 成 費		
4	資 料 購 入 費		
5	要請・陳情活動費		
6	会 議 費		
7	広 報 費		
8	広 聴 費		
9	事 務 費		
10	人 件 費		
支 出 先		IZU未来口座（返金処理）	
支 出 年 月 日		令和 7 年 1 月 27 日	支払番号 ⑦
特 記 事 項		参考領収書添付	

領収書は裏面添付

領収証

2025 年 1 月 27 日

ISU未来

様

★

¥390,000

但 1/27,28 質問の仕方 集中講座

9名様 研修会受講代として

上記正に領収いたしました



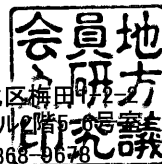
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田4-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-0号室

TEL 050-6868-9678



令和7年 1 月 31日

令和6年度 研修報告書

伊豆未来 浅田藤二

日時 令和7年 1月 27日(月) ～ 1月 28日(火) 2日間

①1月27日(月) 14:00～16:30

参加者 三田忠男 下山祥二 間野みどり 小長谷順二

鈴木優治 波多野靖明 飯田 大 浅田藤二 8名

『人口減少対策の質問の仕方 開発・企業誘致・学生対策編』

講師 地方議員研究会 村山祥栄 氏

人口減少が全国の自治体で問題になっていますが、政策を展開していく上で、自治体の適正人口を私たちは考えたことがあるのだろうか。はたして、人口が減ることは、悪いことなのだろうか。現状は人口を増やすために、なんとなくがんばって政策をうっている。そんな気がしてならなりません。そもそも少子化は、止められるのでしょうか。自然減少は、自然の摂理どおり、裕福になり寿命が長くなれば、少子化に進んでいきます。人口減少は、出生数を死亡数が上まわる自然減と自治体からの転出超過による社会減に分けられます。

交流人口を増やし、20代、30代に焦点をあてて政策を考えていかなければ、人口減少対策にはならないと今回の研修を受けて強く感じました。

人口減少対策で成功している自治体の共通点は、1.リブランド(自治体独自の魅力や強みを周囲に向けて発信し、その価値を高めるための取り組み)2.子育て支援 3.地理的優位性があげられます。これを政策にしっかりと活かしていくことが大切です。人口が減ると労働者不足が原因となり、様々なサービスが享受できなくなっています。

交流人口を増やし、移住・定住につなげるには、若い世代について考えなければなりません。なぜなら、移動するのは若者で、その理由は、仕事と住まいだからです。つまり、入学、卒業、就職、出産、新居、子育てなど、若者のライフステージに合わせて政策をうっていくことが大切です。

人口減少対策で企業誘致があげられます。従来の大きな工場を誘致するイメージがありますが、物流拠点や再生可能エネルギーと組み合わせたデータセンター、大学との産学連携による地方研修校舎誘致などが伊豆市には合うのではないのでしょうか。これに合わせた、新中学校の教育もイェナプランなど伊豆市の特色を活かした、生徒の自主性を最大限に活かした教育に舵をきることも移住のきっかけになると考えました。

また、奨学金返還支援などの政策を打ち出すことも U ターンのきっかけづくりになると考えます。

最後に、移住を進めるよりも、いかに今いる人材の流失を防ぐかが用意であり取り組みやすいと考え政策を考えていきたいと思います。教育や奨学金に焦点を充てることが大切だと考えています。

様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票

令和 7 年 12 月 27 日

会 派 名		IZU未来		
支出金額		¥ 25、080		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	購入資料 「自治体情報誌ディーファイル」 イマジン出版株式会社 購入金額 2024年11月～2025年3月発行号誌代 ¥25,080 購入目的 専門的知見、各自治体動向を得る、新たな法律、各県市町条例 の新規情報取得、 購入者 小長谷順二		
2	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
④	資 料 購 入 費			
5	要請・陳情活動 費			
6	会 議 費			
7	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		イマジン出版株式会社		
支 出 年 月 日		令和 7 年 1 月 7 日	支払番号	⑤ ④
特 記 事 項				

領収書は裏面添付

No.

領 収 証

IZU 未来

様

金 額

¥25,080

但 自治体情報誌ディーファイル 2024年11月号発行分 2025年3月号発行分
2025年 1 月 7 日 上記正に領収いたしました

内 訳

消費税額等(10%) 2,280

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン出版株式会社

代表取締役 片 岡 幸 三

登録番号 T3010001000788

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください	口座記号番号	001006
	加入者名	イマジン出版株式会社
	金額	¥25080
	住所	静岡県伊豆市土肥457
	氏名	IZU未来
	備考	小長谷 順二 様
	日 月 印	07-01-07
	印 度	T501000111
	備考	2730
	現金扱	現金扱

この受領証は 大切に保管してください

様式第9号(第6条関係)

支 払 伝 票

令和 7 年 1 月 26 日

会 派 名		IZU未来		
支出金額		¥ 7 3 , 9 2 0 /		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	1月27日 1月28日地方議員研究会主催 研修会参加旅費 1月27日 修善寺～三島(新幹線)～新宿 1月28日 新宿(新幹線)～三島～修善寺 @9,240×8名=73,920円		
②	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
4	資 料 購 入 費			
5	要請・陳情活動費			
6	会 議 費			
7	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		伊豆箱根鉄道株式会社		
支 出 年 月 日		令和 7 年 1 月 26 日	支払番号	⑥
特 記 事 項		調査研究費旅費明細書添付		

領収書は裏面添付

領 収 証

No. A 006642

IZU 未来 様

2025年 1月26日

金 額				¥	7	3	9	2	0
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

上記金額正に領収いたしました。(現金・クレジットカード・その他 ())

但し 乗車券、特急代

※☐左記は食料品代(軽減税率対象)含む

登録番号 T9-0801-0100-5353

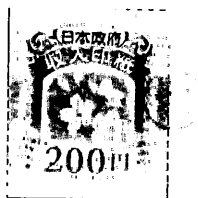
三島市大場 300番地

【内訳】

標準税率	税込金額	¥ 73,920
10% 対象	消費税額	¥
軽減税率	税込金額	¥
8% 対象	消費税額	¥

伊豆箱根鉄道株式会社 - 82/100 -

静岡県伊豆市柏久保631-7
伊豆箱根鉄道株式会社
修善寺駅
電話0558-72-0667



※ 領収印の無いもの、金額を訂正したものは無効です。

様式第10号（第6条関係）

調査研究等旅費明細

会 派 名	IZU未来				
参加者氏名	三田忠男、小長谷順二、下山祥二、間野みどり、波多野靖明、飯田大、鈴木優治			支 出 科 目	
実 施 日	令和7年1月27日～ 令和7年1月28日			支 払 番 号	
用 務 先	東京（リファレンス西新宿大京ビル）				
目 的	地方議員研究会主催 研修会参加旅費				
概 算 額		精 算 額		差 引 額	
円		73,920円		円	
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	宿泊料
1/27	修善寺～三島	km	伊豆箱根	550円	1泊目(甲・乙)円 2泊目(甲・乙)円
1/27	三島～新宿		JR新幹線	4,070円	
1/28	新宿～三島		JR新幹線	4,070円	
1/28	三島～修善寺		伊豆箱根	550円	
	～				
	～				
	～				
	～				
概 算 額					
精 算 額				73,920円	
過 不 足 の 理 由					
備 考			@9,240×8名=73,920円 /		

様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票

令和 7 年 1 月 28 日

会 派 名		IZU未来		
支出金額		¥ 9 , 2 4 0		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	1 月 28 日 地 方 議 員 研 究 会 主 催 研 修 会 参 加 旅 費 （ 青 木 靖 分 ） 修 善 寺 ～ 三 島 （ 新 幹 線 ） ～ 新 宿 往 復 旅 費		
②	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
4	資 料 購 入 費			
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
6	会 議 費			
7	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		伊豆箱根鉄道株式会社		
支 出 年 月 日		令和 7 年 1 月 28 日	支払番号	⑧
特 記 事 項		調査研究費旅費明細書添付		

領収書は裏面添付

青木靖領収書

金額 ￥9,240円

但し 乗車券類代として

(消費税込み)

25.-1.28

No. 4230

伊豆箱根鉄道株式会社

修善寺駅1発行

様式第10号 (第6条関係)

調査研究等旅費明細

会 派 名	IZU未来				
参加者氏名	青木靖			支 出 科 目	
実 施 日	令和7年1月28日～ 令和7年1月28日			支 払 番 号	
用 務 先	東京（リファレンス西新宿大京ビル）				
目 的	地方議員研究会主催 研修会参加旅費				
概 算 額		精 算 額		差 引 額	
円		9,240円		円	
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	宿泊料
1/28	修善寺～三島	km	伊豆箱根	550円	1泊目(甲・乙) 円 2泊目(甲・乙) 円
1/28	三島～新宿		JR新幹線	4,070円	
1/28	新宿～三島		JR新幹線	4,070円	
1/28	三島～修善寺		伊豆箱根	550円	
	～				
	～				
	～				
	～				
概 算 額					
精 算 額				9,240円	
過 不 足 の 理 由					
備 考					

様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票

令和 7 年 1 月 28 日

会 派 名	IZU未来		
支出金額	¥ 1 0 4 , 8 0 0		
支 出 科 目	摘 要		
1 調 査 研 究 費	1 月 27 日 1 月 28 日 地方議員研究会研究会 参加時宿泊代 @13,100円×8名=104,800円		
② 研 修 費			
3 資 料 作 成 費			
4 資 料 購 入 費			
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
6 会 議 費			
7 広 報 費			
8 広 聴 費			
9 事 務 費			
10 人 件 費			
支 出 先	新宿プリンスホテル		
支 出 年 月 日	令和 7 年 1 月 28 日	支払番号	④
特 記 事 項	調査研究費旅費明細書添付		

領収書は裏面添付

領 収 証

RECEIPT

IZU 未来 様

AF No.

2025 年 1 月 28 日

下記の金額正に領収いたしました。

〔現金・クレジットカード・振込・その他 ()〕

金額(税込)

¥ 104,800

ご宿泊代として

☐ 上記は食料品代 (軽減税率対象) 含む☐ 左記領収額には別紙明細料金を含む

【内 訳】

標準税率	税込金額	¥ 104,800
10 %対象	消費税額	¥ 9,527

軽減税率	税込金額	¥
8 %対象	消費税額	¥

(宿泊税) ¥

課税対象外 () ¥

() ¥

その他領収額※ ¥

(内、免税事業者 領収額) ¥

※「その他領収額」の税率別の消費税額等は、別紙明細をご参照ください



SEIBU PRINCE HOTELS & RESORTS

株式会社 西武リアルティ

新宿プリンスホテル

〒160-8487 東京都新宿区歌舞伎町1-30-1

TEL: 03-3205-1111 FAX: 03-3205-1958

登録番号: T5013301022046

係名

合

様式第10号（第6条関係）

調査研究等旅費明細

会 派 名	IZU未来				
参加者氏名	三田忠男、小長谷順二、下山祥二、間野みどり、波多野靖明、浅田藤二、飯田大、鈴木優治 8名			支 出 科 目	
実 施 日	令和7年1月27日～ 令和7年1月28日			支 払 番 号	
用 務 先	東京（リファレンス西新宿大京ビル）				
目 的	地方議員研究会主催 研修会参加宿泊代				
概 算 額		精 算 額		差 引 額	
円		104,800円		円	
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	宿泊料
		km		円	1泊目(甲・乙) @13,100円 2泊目(甲・乙)円
				円	
				円	
				円	
	～				
	～				
	～				
	～				
	～				
	～				
概 算 額					
精 算 額				104,800円	
過 不 足 の 理 由					
備 考			@13,100×8名＝104,800円		

様式第9号（第6条関係）

支 払 伝 票

令和 7 年 3 月 28 日

会 派 名		IZU未来		
支出金額		¥ 8 1 , 9 2 8		
支 出 科 目		摘 要		
1	調 査 研 究 費	伊豆市議会会派通信IZU未来第3号 印刷代7,240枚 同上新聞折込手数料（伊豆市内全域）7,120枚 印刷代46,000円 新聞折込代28,480円 消費税7,448円		
2	研 修 費			
3	資 料 作 成 費			
4	資 料 購 入 費			
5	要請・陳情活動費			
6	会 議 費			
⑦	広 報 費			
8	広 聴 費			
9	事 務 費			
10	人 件 費			
支 出 先		有限会社修善寺印刷所		
支 出 年 月 日		令和 7 年 3 月 28 日	支払番号	⑩
特 記 事 項				

領収書は裏面添付

領 収 書

令和 7 年 3 月 28 日

IZU 未来 様

¥ 81,928

但し 印刷代 消費税額(10%) 込

上記の金額正に領収致しました

パンフレット・カタログ・宣伝広告・各種等
包装紙・ポスター・ハガキ類・その他印刷物

有限
会社

修善寺印刷所

静岡県伊豆市修善寺 704-2

TEL <0558> 72-0524(代)

FAX <0558> 72-0557

登録番号 T7080102008282

現金	✓
振込	
小切手	



166

IZU 未来 御中

〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺 704-2

代表取締役 佐藤 功

TEL(0558)72-0524 FAX(0558)72-0557

担当者:

毎度ありがとうございます。下記の通り納品致しますので御査取下さい。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I Z U 未来 伊豆市議会会派通信 B/4 4/4 c	7,420	枚		46,000	
同上新聞折込手数料 伊豆市内全域	7,120	枚	¥	28,480	
10%分 課税対象額	74,480 (消費税額等	7,448)	合 計	81,928	

摘 要

未来に責任!

IZU未来

伊豆市議会会派通信

第3号 250

〒410-2502
伊豆市 上白岩 590
TEL 0558-83-0928
FAX 0558-83-0928
会派長 三田忠男



会派代表質問 QR コード

春爛漫の頃、皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

伊豆市議会7期目の議員活動が始まり、半年が過ぎようとしています。

4月には、いよいよ『伊豆中学校』が開校します。そして隣接地に『ひなた公園』(防災公園)が令和8年度の供用を目指し整備中です。

会派として、『子育て全力宣言』を更に進化させた少子高齢化対策、誰一人として取り残さない地域共生社会づくり、健康寿命日本一、災害死者ゼロを目指す防災対策、観光施策のグレードアップ、世界農業遺産継承等々、市民の皆様から寄せられたご意見を基に、毎年予算要望をまいりました。

令和7年度から、会議員個々の資質向上を図り、体制強化を図るため、新たな会派を創設し、二人三脚で要望実現に向けて更に邁進してまいります。

今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会派長 三田忠男



令和7年度予算要望活動

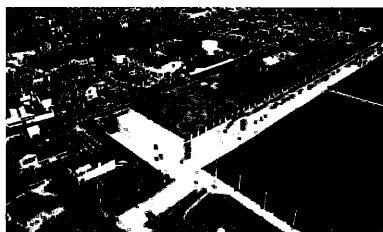
こどもたちの未来 伊豆中学校開校

令和4年1月から始まった工事も無事完了し、4月からは修善寺、天城そして中伊豆の3地区の生徒たちが伊豆中学校という真新しい学び舎に集い、日々切磋琢磨しながら人生の基盤を築く大切な3年間を共に過ごす場となります。

校内は伊豆市産材も使用しふるりのぬくもりを感じながらも、1階に配置された図書メディアセンターなどデジタル教育を進めるための先端的な施設の中で、生徒自ら考え行動する力を育む、そんな環境が整えられました。

さらに下校時間を4時30分としたことで、部活動や放課後の時間の使い方など家庭や地域との連携が重要になってきます。

これを受け令和7年度からの新規事業として通学だけでなく土肥小中一貫校との部活動連携のための移動や休日にも利用を可能としたバスの「エリア定期券」を導入し、生徒が日常的に市内をバスを使って移動することで、ふる里を知り地域とのつながりを感じられる機会の創出など、伊豆市で育つ子どもたちの未来を見据えた新たな学びが始まろうとしています。子育て全力宣言の伊豆市、未来を拓いていく子ども達を全力で応援していきましょう!



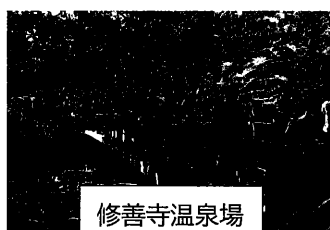
私たちの住む、まちのこれからを考える!

私たちの先祖は、温泉や景観を活かした観光や伊豆市の気候に合った山菜や椎茸などの作物栽培を私たち子孫に残してくれました。私たちは、未来に何を残せるでしょうか。まちの将来を自分事としてとらえ、積極的にまちづくりにかかわることが、私たちの住むまちの幸せな未来につながっていると思っています。

伊豆市の玄関口修善寺駅周辺、伊豆縦貫道天城峠道路の中間インターチェンジ接続が計画されている茅野地区、伊豆半島を代表する観光地修善寺温泉場で、景観や自然と調和した住環境の整備、賑わいの創出など将来のまちのあり方について、住民や近隣事業者による活発な話し合いが

行われています。

茅野地区では、ジオサイト鉢窪山の遊歩道整備や一人暮らしの老人宅の清掃を行う『お助け隊カヤノ』、日本の棚田百選に選ばれた『茅野の棚田』での、都市住民や大学生との交流事業、未耕作農地での無農薬栽培や虫の養殖、農道の整備を行う『与市坂 悠々の郷づくり』など大学生の提案も取り入れながら、積極的に地域の課題解決に取り組んでいます。



修善寺温泉場



茅野の棚田

施政方針を受けて IZU 未来 会派代表質問 3月4日

小長谷順二質問 昨年、市長5期目就任の際に述べられた所信表明と同じ5項目で、その内容を補足する形で施政方針が示されました。以下の3項目について市長に伺います。

1. 移住希望者を最大限受け入れる人口減少対策
移住希望者のニーズに応える空き家の活用に向けた取り組みについて？
2. 災害死者ゼロを目指す防災
公共インフラ整備を担う建設事業者の確保は？
3. 経済的活力維持のための産業振興
観光消費額を増やす取り組みに行政が応援出来ることは？

1. 答弁 空き家バンク登録促進補助金や空き家リフォーム補助金などの支援策を積極的にPRすることにより、移住希望者のニーズに合った空き家の確保と活用に取り組んでまいります。

2. 答弁 令和6年改正の第三次・担い手3法の主旨に基づき、地域建設業等の維持は発注者の責務として、適正な予定価格の設定と休日等を考慮した工期設定に取り組んでいます。また、工事書類の簡素化や発注時期の平準化を図るなど、効率的な事業執行の支援を実施してまいります。

3. 答弁 「伊豆市産業振興協議会」で市内における観光事業の健全な発展と振興及び市内に事業所を置く事業者の産業振興を図る支援をし、観光消費額を増やしていきたいと考えております。

青木靖質問 令和7年度を迎えるにあたり、これからの伊豆市がどうなっていくのか、具体的なイメージを示していただきたいと思い質問します。

4. 公教育における多様な選択肢の確保

・伊豆市内の路線バスが乗り放題になる中学生フリーパスで伊豆市の公教育はどのように変わりますか？

フリーパスがあっても、中学生の移動には、結局、家族や保護者の協力が必要では？

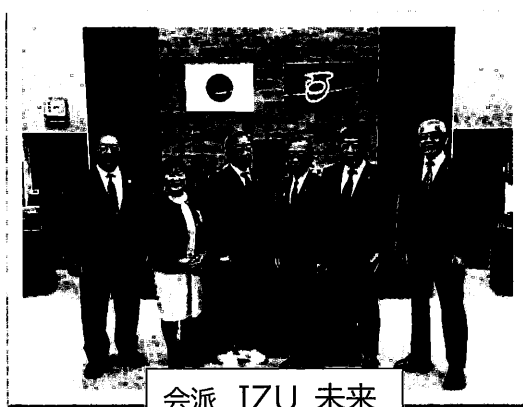
5. 行政 DX 公共施設再編成の推進

・様々な公共料金の値上げを検討することが必要な時期に来ていると思うが、広域連携を含め、調整はどのように進められていますか？

4. 答弁 伊豆中学校と土肥小中一貫校が、1つの学校の2つのキャンパスとなるくらい連携を強くして、子どもたちの活動の選択肢と学びの場を作る取り組みを進めてまいります。

現在の路線バスのダイヤでは結果として自家用車に頼らざるを得ないと承知していますが、3つの中学校の生徒が一つになった伊豆中学校で生徒達がバスを使い互いに交流を深めてほしいという願いがあります。

5. 答弁 能登半島地震の教訓を生かし、上水道施設の耐震化は必須です。下水道も使用料金で維持管理費を賄えてない状況です。安全・安心な生活ため、適正な料金改定を検討します。広域連携も検討を進めています。



会派 IZU 未来

飯田 大	尾垣 和則	鈴木 優治	三田 忠男	間野 みどり	下山 祥二
------	-------	-------	-------	--------	-------

4月より心機一転伊豆市の未来を切り拓くために【IZU 未来】と【フロンティア伊豆】2会派で活動する運びとなりました。皆さまのご意見・ご要望などお寄せください。



会派 フロンティア 伊豆

波多野 靖明	浅田 藤二	黒須 淳美	青木 靖	小長谷 順二
--------	-------	-------	------	--------